

みんなで家庭教育! ②

「金銭教育」で教えること

～ お金の話だけじゃなくて… ～

飛騨県事務所 振興防災課

家庭教育推進専門職 水口 悟



家庭で子どもに教
えたいことや、育みたい
力など、家庭教育の
ヒントになる情報をお
伝えします!!

一 はじめに

可愛らしい毛糸の編み物がかぶせてある大きな瓶。ずっしり重い。首のところの結びを解き中を見てみると、小銭がいっぱい。私の亡き母がコツコツ貯めたものです。今年の春、私はこの貯金の存在に初めて気が付き、その意味を考えることができました。



四月当初、児童福祉施設の方から、施設に通う児童の保護者を対象に、「金銭教育」についての家庭教育学級を開催していただけないかと依頼を受けました。五月から始まった学級は、その後六月、八月、十月と続き、施設の方々も巻き込んで、今やシリーズ化した楽しい家庭教育学級となっています。

二 小銭貯金を始めよう!(五月)

お金との付き合いは一生の問題です。「物やお金を大切にすることを育みたい」「将来、お金と上手に付き合える力を身に付けてほしい」…多くの保護者のわが子に対する願いです。親として、わが子にお金の遣い方を教えていくために、まず、親自身が「無駄遣いをしていない」「計画的に貯金する」ことを目的とした研修を進めることとしました。そして「身近にある小銭を活用して、とりあえず一か月間貯金をしましょう」という提案を投げかけたのです。もちろん、私自身も始めました!

三 結構、楽しくなりました!(六月)

「前回お話を聞いてすぐに貯金箱を買いに行ったんです。」と言って、赤い郵便ポストの形をした貯金箱を大切そうに抱えた参加者の姿がありました。家庭教育学級に参加されるの方も、達成感がある表情をされています。施設の方々も一緒に取組を始め、「私は家族旅行するために始めました。」「私は毎週金曜日に財布の中の小銭を貯金することにしました。」等々、貯金する目的や方法を発表しました。

小銭貯金の願いや方法に個々のスタイルがあっても面白い!ある参加者の方は「金銭教育…お金の話だけでなく、それだけではありません。何かのきっかけになったり、できたという自信につながったりします。」と話されました。

四 夢を描く生き方が大切!(八月)

小銭貯金を始めて三か月。参加者のみなさんが「大切なのは貯金する金額ではなくて、例えば小さなお金であってもコツコツ貯めるという行為そのものにあること」に気付いていきます。目標(めあて)に向かってコツコツと小銭を貯めるという行為は、まるで自分の気持ちを貯金しているようです。それは、日々の前向きな生き方のための貯金であったり、どんな家族になりたいか、どんな子育てをしたいのかを考えるきっかけであったりします。小さなお金を大切にしている親の姿は、わが子にも必ず届いているはず。小銭貯金は気持ち貯金です。親の前向きな生き方は、子どもの心の成長につながります。

五 おわりに

母が貯めていた小銭貯金。どれだけの間、貯金していたのだろうか。どんな気持ちで詰まっているのだろうか。なぜか、瓶の中にある小銭を清算し、使ってしまう気持ちにはなかなかありません。なぜなのでしょう。母の気持ちを理解もせず、自分勝手に使ってしまうような気がするからでしょうか。小さなお金をおろそかにしないこと、コツコツ粘り強く仕事に打ち込むこと、目標をもって前向きに生きること、何より家族みんなの幸せを願うこと、そんな声が聞こえてくるようです。

